



出演者プロフィール



瞽女唄うたい

～瞽女唄に魅せられて～ 広沢 里枝子(ひろさわ りえこ)

今からおよそ400年前、目の不自由な女性たちが、生活の糧を得るために全国を旅しながら、門口に立って歌った楽曲が瞽女唄。旅回りの生活の厳しさは相当なもので、年間およそ300日を村から村へと歩き続けたそうです。今では演ずる人も少ないため、伝統芸能として無形文化財に指定されています。その瞽女唄を現代に蘇らせ、次代に引き継ぐために取り組んでいるのが広沢里枝子さん。自らを「瞽女唄うたい」と称し、五代目のアイメイトとともに講演や演奏活動を展開、ラジオ・パーソナリティも取り組むなど幅広い活動を展開中です。

	<演奏予定曲>	かどづけうた	さざまつざか	さいもんまつざか	さんしょうだゆう
		1. 門付唄	…… 睽女松坂	2. 祭文松坂	…… 山椒太夫



フォーク・デュオ

～昭和100年に思いを寄せて～ 片銀村(ペンギン村)

ギターとヴォーカルを担当する野村宏一さんと、ヴァイオリンを担当する山口益人さんによるフォークデュエット。サラリーマンであった野村さんは、50歳を目前に視力障害に、しかし友人や家族のはげましによって新たな人生のスタートを切ることに。相方の山口さんは、岐阜県交響楽団のコンサートマスターを務めたこともある筋金入りの音楽家。この二人がコンビを組んで、13年前に結成したのがフォークデュオ「片銀村」。グループ名の片銀村は、マイナス60度のブリザードが吹き荒れる南極で、互いに身を寄せ合って生きる皇帝ペンギンに因んで名付けられました。

	<演奏予定曲>	1. 亜麻色の髪の乙女	2. 思い出の渚	3. 雨の物語
		4. さよならをするために	5. 白いプランコ	



邦 楽

～邦楽のひととき～

日本視覚障害者団体連合音楽家協議会

名曲「春の海」は、日本の作曲家・箏曲家であった宮城道雄氏が1929年(昭和2年)に発表した名曲です。その宮城道雄氏が1956年に急逝。遺徳を忍ぶ全国の盲人音楽家が一堂に集結し、翌年に立ち上げられたのが日本視覚障害者団体連合音楽家協議会です。「音楽を通じて日本文化の発展に寄与しつつ、会員の技芸の向上を図ること」を目的に活動をしています。全国各地で演奏会を開催し1986年には岐阜市でも開催されています。今年3月には東京において通算60回目の演奏会を開催するという大きな節目を迎えました。



	<演奏予定曲>	1. みだれ(八橋検校作曲)	2. 唐砧(からぎぬた 宮城道雄作曲)
		3. 北海民謡調(ほっかいみんようちょう 宮城道雄作曲)	

観覧申込受付について

①②いずれかの方法でお申込みください

※従来の封筒での申込みも受け付けております。詳しくはお問い合わせください。

11月5日(火)
10時から受付開始

いずれも

お一人様につき
4名まで
申込み可能

①入場整理券の取得

配布場所／ぎふ清流プラザ

1Fサービスカウンター

配布時間／9:00～21:00
(11月5日のみ10:00～21:00)

②インターネット申込み

下記ホームページにアクセスし、
お申込みください。

<https://coubic.com/seiryu-plaza/3389384>



プロ・アマを問わず音楽イベントを企画開催するかたわら、地域の団体などが、音楽イベントの開催で主催者を探しておられる場合に、郷土“ぎふ”的地域活性化と音楽文化の普及発展に寄与することを目的として、平成27年に設立。



公益財団法人 岐阜県教育文化財団
プラザ事業課

〒502-0841 岐阜市学園町3-42 ぎふ清流文化プラザ1階
TEL.058-233-8164 FAX.058-233-5811
<https://www.seiryu-plaza.jp/> ggef@g-kyoubun.or.jp

■公共交通機関のご案内【岐阜バス】

JR岐阜駅10番のりばまたは名鉄岐阜(バスターミナル)Cのりば
【三田洞線】[K50 長良川(代公園)(行き)]JK55 粟野西5丁目(行き)
または[城寺寺団地線] [K49 城寺寺団地(行き)]にて約20分
【メモリアル正門前】バス停下車 徒歩5分

■駐車場について

◆駐車料金／3時間まで100円
それ以降30分ごとに100円
(上限 1,000円)
但し、夜間の留め置きはできません。
※障害者手帳をお持ちの方は、駐車料金の減免があります。

※駐車場には限りがありますので、
公共交通機関をご利用ください。



音声コード Uni-Voice

専用読み取り装置やスマート
アプリを利用して情報を音声
で聞くことができます。

